

小児への肺炎球菌ワクチン、Hib(ヒブ)ワクチンは？

Web表： ワクチン接種者数と、死亡者数、未導入死亡率、実死亡率の比較

ワクチン	調査時期	ワクチン接種			死亡者数*c		死亡率(/10万人)				死亡率(/10万人年)		
		延べ回数	推定人数 *a	推定人数 *b	未 補正	補正	分母推定人数*a		分母推定人数*b		未導入 予測*d	導入 後	差
							未補正	補正	未補正	補正			
全ワクチン					60								
Hibワクチン	2008/12~2016/10/31	26,710,835	10,684,334	14,516,758	56	24.0	0.52	0.22	0.39	0.17	0.14*e	0.09	0.05
PC肺炎球菌ワクチン	2010/2~2016/10/31	26,609,051	10,643,620	14,461,441	48	18.0	0.45	0.17	0.33	0.12	0.09*f	0.09	0.00
DPT (ジフ・百・破傷3種混合)	2013/4/1~2016/10/31	1,144,913	457,965	622,235	2	0.67	0.44	0.15	0.32	0.11			
ロタ・ワクチン (ロタテック)	2013/4/1~2016/10/31	2,368,179	947,272	1,287,054	6	1.23	0.63	0.13	0.47	0.10			
ロタ・ワクチン (ロタリックス)	2013/4/1~2016/10/31	2,685,661	1,611,397	2,189,398	4	0.98	0.25	0.06	0.18	0.04			
DPT-P(ポリオ含む4種混合)	2012/10~2016/10/31	14,968,445	5,987,378	8,135,024	14	3.60	0.23	0.06	0.17	0.04			
不活化ポリオワクチン	2012/8~2016/10/31	5,719,146	2,287,658	3,108,232	3	0.75	0.13	0.03	0.10	0.02			
B型肝炎ワクチン	2013/4/1~2016/10/31	15,337,927	6,135,171	8,335,830	7	1.40	0.11	0.02	0.08	0.02			
BCG	2013/4/1~2016/10/31	3,497,916	3,497,916	3,497,916	2	0.70	0.06	0.02	0.06	0.02			

*a：接種者数の推定方法(a法)：通常3回接種するワクチンは、1人平均2.5回接種として、接種者数を推定。通常2回接種するロタリックス、インフルエンザワクチンは2.5×2/3回服用として計算。1回接種のBCGはそのままの数を接種人数とした。

*b：接種者数の推定方法(b法)：通常3回接種するHibワクチンの初回平均接種回数として、製造業者の推計として、厚労省が採用する1.84回を採用。

*c：死亡者数の補正：単独接種は1人と算定。2種類のワクチンが接種されていた場合は1/2人、3種類が接種されていた場合は1/3人など、接種の種類数で除した人数の合計を計算。

*d：予測死亡率：1996年からの減少傾向から予測した2012~2015年4年間の死亡率(／10万人年)。

*e：細菌性髄膜炎による予測死亡率(0.14)：Hibワクチンが導入されなかったと仮定して、*dにより推定した予測死亡率。

Hibワクチン導入後の死亡率(0.09)は導入前の予測値(0.14)よりも低下したが、Hibワクチン接種後死亡率(0.22、0.17)の方が、その差(0.05)よりもはるかに大きく、未導入予測死亡率(0.14)よりも大きい。害の方が利益よりも大きいことを、明瞭に示している。

*f：細菌性肺炎による予測死亡率(0.09)：肺炎球菌ワクチンが導入されなかったと仮定して、*dにより推定した予測死亡率。

肺炎球菌ワクチン導入前後で全く差がなく(いずれも0.09)、肺炎球菌ワクチン接種後の死亡率(0.17、0.12)の方が、その差(0.0)よりもはるかに大きく、未導入予測死亡率(0.09)よりも大きい。害の方が利益よりも大きいことを、明瞭に示している。